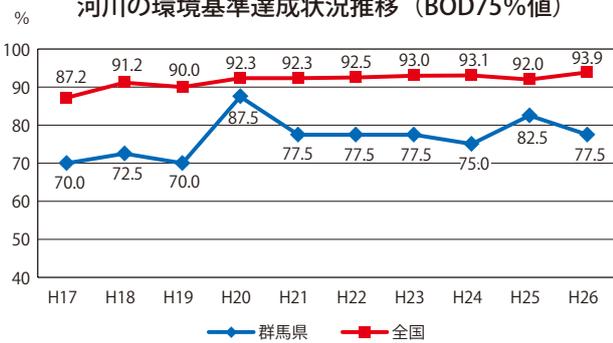


水質

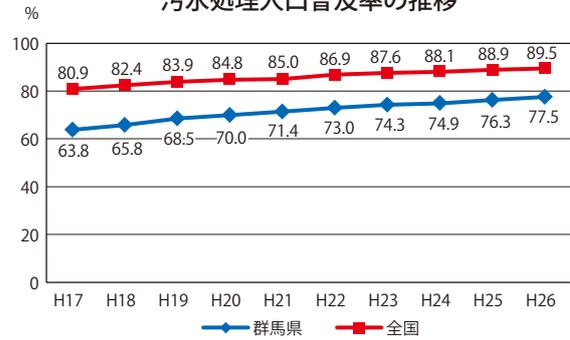
平成26年度の河川のBOD環境基準達成率は77.5%で、全国平均より低く、ここ数年横ばいです。

河川の環境基準達成状況推移（BOD75%値）



同じく汚水処理人口普及率は77.5%で、改善傾向にありますが、全国平均89.5%を大きく下回っています。

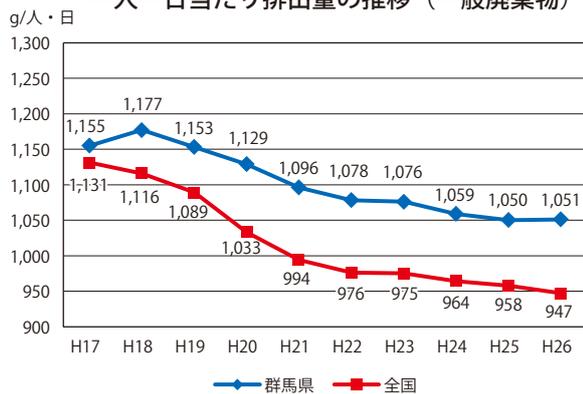
汚水処理人口普及率の推移



廃棄物

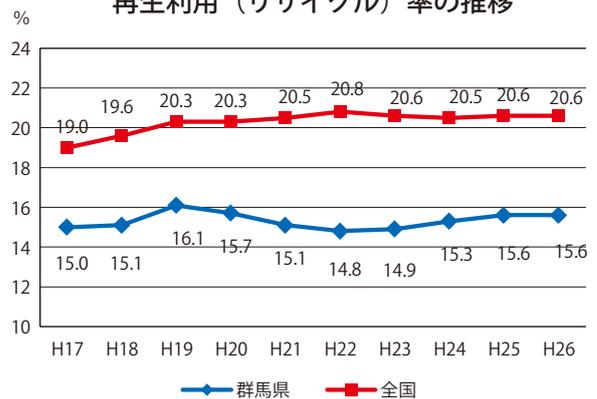
県民一人一日当たりのごみの排出量は減少傾向にありますが、平成26年度は1,051gで全国ワースト2位です。

一人一日当たり排出量の推移（一般廃棄物）



平成26年度のリサイクル率は15.6%で、わずかに上昇傾向にありますが、全国平均に比べると5ポイント低く、全国ワースト10位です。

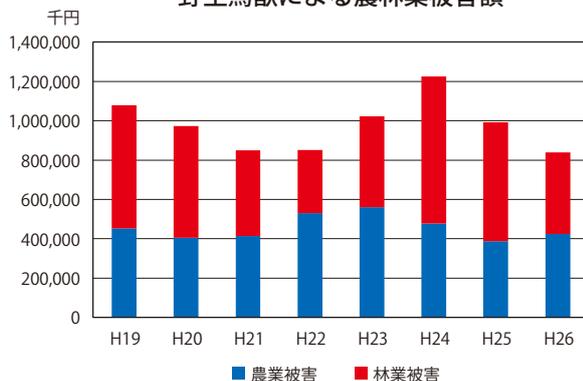
再生利用（リサイクル）率の推移



生態系

平成26年度の野生鳥獣による農林業被害額は838,488千円で、前年度に比べ154,348千円減少し、平成19年度以降では最も少ない額となりました。

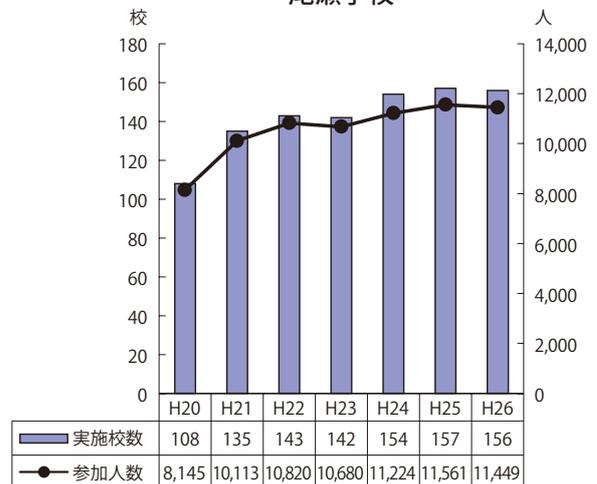
野生鳥獣による農林業被害額



環境学習

県内の小中学生が尾瀬を訪れ、貴重な自然を体験する「尾瀬学校」には、平成26年度、156校、11,449人が参加しました。

尾瀬学校



メインテーマ

本格的な人口減少社会を迎え、これまでのような生活環境や自然環境との調和を図りながら社会経済活動を行う社会から、人々が能動的に環境に働きかけ、より質の高い環境を創造していく社会へ移行していかなければなりません。

豊かで持続的に発展する環境県群馬を目指して ～環境への負荷が少なく環境の質が高い群馬の実現～

県民生活の水準を維持増進させつつ、温室効果ガスやごみ等の環境に負荷を与えるものの排出を抑制して、質が高く持続可能な環境県づくりを目指します。

計画の進行管理

①施策や事業への取組

施策や事業の実施状況については、効果的な環境施策の推進を図ることを目的に、環境マネジメントシステムなどの手法を活用して、PDCAサイクル（Plan：計画、Do：実行、Check：評価、Action：見直し）により、毎年点検・評価します。

②環境指標による点検・評価

施策の実施状況等を数値で表すことのできる主要な項目を計画目標として設定し、これらの推移を見ることによって、実施した施策の効果を間接的に把握します。

③環境審議会での点検・評価

点検・評価の結果を環境審議会に報告します。

④環境白書等による公表

計画目標の達成状況や事業の実施状況について、点検・評価し、その結果を環境白書等で公表します。

コラム

3Rを「で・き・る・こ・と・か・ら」実践しよう。

【で】 でかける時は、マイバッグを持参します。（リデュースの例）

【き】 きちんと食べきり、生ごみを出しません。（リデュースの例）

【る】 ルールに従い、分別を徹底します。（リサイクルの例）

【こ】 コツコツと生ごみの水切りを徹底します。（リデュースの例）

【と】 ともだちと、古着と思い出を分かち合います。（リユースの例）

【か】 買い物の際は、店頭回収BOXを利用します。（リサイクルの例）

【ら】 ライフスタイルを「で・き・る・こ・と・か・ら」見直し、実践します。

県では、県民のみなさんに実践していただきたい3Rの取組を宣言し、実行していただくため、「ぐんま3R宣言」のコーナーを、ECOぐんまのホームページで開設しています。是非アクセスし、参加してください。

宣言をするとぐんまちゃんのイラストが入った宣言書がダウンロードできます。

* ECOぐんま URL…http://www.ecogunma.jp/f_3r/